

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	滋賀医科大学大学院医学系研究科						
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じたがん集学的治療と全人的診療を担う医療従事者養成コース						
対象者	医学専攻 博士課程						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	ライフステージに応じた、基礎・臨床腫瘍学の概念を習得し探究する視点と技術を備えるとともに、遺伝性疾患の理解や社会医学と他領域の知識を兼ね備えた全人的医療を行う人材						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	滋賀医科大学医学部附属病院では特にAYA世代、および、遺伝性腫瘍カウンセリング、がん・生殖医療に特化した医療に重点的に取り組んでおり、妊孕性温存に関しては滋賀県内でのネットワーク構築と、受精卵だけでなく卵巣凍結など種々の方法での妊孕性温存を行っている。罹患率第1位で増加し続ける乳癌に代表されるようにAYA世代ならびにその前後世代のがん患者に対しては、高齢者のがん診療とは異なった問題点を有しており、がん診療において医療の推進と地域医療を支えるための専門医充実が望まれる。さらに、治療成績の向上により伴うサバイバーシップ（遺伝性がん疾患、がん・生殖医療など）を理解し適切なチーム医療を提供、実践し、その新たな医療の研究能力を備える人材の養成が急務である。						
指導体制	滋賀医科大学の教員による講義、実習、研究指導						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフステージに応じたがん診療の実践と体制整備への貢献</li> <li>・ AYA世代を中心とした妊孕性温存に関する諸問題への取り組み</li> <li>・ AYA世代に対する就労支援</li> <li>・ 臨床遺伝専門医制度委員会の臨床遺伝専門医、日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医などへの修練へ継続することも可能</li> </ul>						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻 大学院生	1	1	1	1	1	5
	計	1	1	1	1	1	5